

**千葉県競技力向上推進本部事業ジュニア強化事業「地区別練習会」及び
令和4年度 第4回千葉県U14地区DC交流バスケットボール大会要項**

1. 大会の目的

- (1) 地区DCの取り組みの成果を発揮するとともに、各地区間の交流の活性化を図り、併せて中学生の競技力の向上を目指す。(強化)
- (2) 各地区・各チームのリーダーの育成を図り、中学生のバスケットボールの一層の普及を目指す。
(普及)
- (3) 千葉県競技力向上推進事業のジュニア選手強化事業の一環として地区別練習会を各地区で行う。その成果を発表する場として交流会形式の大会を行い、より一層の競技力向上を目指す。(強化)

2. 主 催 千葉県競技力向上推進本部, (一社) 千葉県バスケットボール協会

3. 主 管 千葉県バスケットボール協会U15カテゴリー部会

4. 大会期日 令和4年12月4日(日), 11日(日)

5 大会会場

| 会場名 | 4日(日) | 11日(日) |
|----------------|-----------|-----------|
| 富津市総合社会体育館 | | A, B (2面) |
| 千葉経済大学附属高等学校 | C, D (2面) | C, D (2面) |
| 東海大学付属市原望洋高等学校 | | E, F (2面) |
| 千葉黎明高等学校 | | G, H (2面) |
| 東海大学付属浦安高等学校 | I, J (2面) | |
| 千葉県立成田北高等学校 | K, L (2面) | |
| 松戸市立松戸高等学校 | M, N (2面) | |

6. 大会方式 男女DC活動チームによるリーグ戦方式。

7. 競技方法

- (1) チーム編成に当たっては、以下のとおりとする。
- ① チームの編成はスタッフ4名以内(コーチ, アシスタントコーチ, マネージャー, トレーナー)および選手20名以内(試合ごとに選手の入れ替えは可)とする。
- ② 「ベンチで指揮を執る者」は、有資格者(JBA公認コーチD級以上)とし、試合の間はコーチ証を首から下げること。なお、チームの責任者がスタッフでない場合、その者はベンチに入ることはできない。
- ③ トレーナーは、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を保有していること。

④ 選手の選出方法は、各地区の定める方法によるが、単に学校の大会成績のみだけでなく、真に選手の将来性や力量によって選抜すること。

(2) 競技の方法は以下の通りとする。

① 19地区とU13県DCから参加する20チームを、5つのグループに分け、リーグ戦を行う。
(各リーグに4チームを割り振る。)

② 延長戦は行わない。

③ リーグ内の順位は決めない。

(3) TO、フロアキーパーについてはそれぞれ4人ずつで行う。担当は、以下のようにする。

第1試合…TO (第2試合の淡チーム)、フロアキーパー (第2試合の濃チーム)

第2試合…TO (第1試合の淡チーム)、フロアキーパー (第1試合の濃チーム)

第3試合…TO (第4試合の淡チーム)、フロアキーパー (第4試合の濃チーム)

第4試合…TO (第3試合の淡チーム)、フロアキーパー (第3試合の濃チーム)

(4) 表彰、式典は行わない。

(5) 競技日程は全日程以下の通りとする。

| 時間 | 内容 |
|-----------------------|------------------------------|
| 8:00 | 開場 |
| ~8:20 (開場開始から20分間) | 第1試合が試合またはTO関係のチーム会場入り |
| 8:30~ | 役員・チームスタッフ打ち合わせ |
| 9:00~ | 第1試合 |
| 10:40~ | 第2試合 |
| 11:40~12:00 | 第3試合がその日最初の試合またはTO関係のチーム会場入り |
| 休息 | |
| 12:10~ | 第3試合のチームのフロアアップ開始 |
| 12:40~ | 第3試合 |
| 14:20~ | 第4試合 |
| 15:30~ | 会場内の清掃除菌作業・片付け |
| ~16:20 | 閉場・撤収完了 |

※1試合目のチームは会場入り後すぐにアップを開始してよい。

※定刻優先で試合を進めるが、前の試合終了後、次の試合まで20分を切っていた場合は、20分間のアップ時間を確保する。

※自チームのその日最後の試合やTOが終了したら、すみやかに会場を撤収すること。

※第2試合終了後、第3試合のチームは12:10まではフロアでのアップは禁止とする。

8 参加資格

- (1) (公財)日本バスケットボール協会及び(一社)千葉県バスケットボール協会にチーム加盟・競技者登録をしていること。
- (2) 各地区DCとして選抜された男女各1チームが参加できる。
千葉、印旛の男子については交互に隔年で2チームとする。
- (3) 各チームは(公財)日本バスケットボール協会及び(一社)千葉県バスケットボール協会に登録された中学生で、各地区の定める方法により選抜された複数校の1・2年生の選手で構成する。
- (4) 大会参加に伴う個人情報掲載を承諾できること。
- (5) U13県DC男女各1チームが参加できる。

9 参加費 登録選手1人につき1,000円(プログラム込み) ※大会当日受付へ

10 参加地区

以下の各地区男女1チーム(千葉、印旛の男子は交互に隔年で2チーム。2022年度は印旛男子が2チーム。)

| | | | | |
|---------|-------|----------------------|-------|-----------------|
| 1 葛南 | 5 松戸 | 9 印旛 ※男子は隔年でA, B | 13 君津 | 17 山武 |
| 2 葛北 | 6 船橋 | 10 市原 | 14 安房 | 18 長生 |
| 3 柏 | 7 習志野 | 11 千葉 ※男子は隔年でA, B | 15 香取 | 19 夷隅 ※男子はなし |
| 4 市川・浦安 | 8 八千代 | 12 木更津・袖ヶ浦 | 16 東総 | 20 U13県DC |

※今後の男子2チーム : 2023年度(千葉) → 2024年度(印旛)

11 競技規則

- (1) 2022バスケットボール競技規則(official Basketball Rules2020)による。
- (2) マンツーマンディフェンスの基準規則による。
- (3) 試合中の暴言・暴力等のインテグリティに反する言動に関しての対応は、競技規則及びJBAプレーコーリング・ガイドラインによる。

12 組み合わせ

- (1) 県新人大会の成績でベスト4の地区から抽選にて選ばれた3地区とU13県DCを、第1リーグに組み入れる。ベスト4の地区のうち、第1リーグに入らなかった残りの1地区が入るリーグはフリー抽選とする。なお、ベスト4に地区の重なりがあり、3地区を選ぶことができない場合は、ベスト8の地区の中から抽選により決定する。
- (2) 千葉、印旛地区のそれぞれのA, Bチームを同一リーグに入れない。
- (3) 組み合わせは、県新人大会3日目(11月13日)に地区委員長またはチーム代表で抽選会を行う。
欠席もしくは県新人大会が中止の場合は、本部の責任抽選とする。

- (4) 初めに(1)のチームの抽選を行う。次に千葉または印旛の2チーム出場する地区の抽選を行い、以下、男子は上記12の若い番号の地区から、女子はその逆からオープンで抽選を行う。ただし、大会運営の都合上、会場所在地の地元の地区をその会場に優先的に割りあてることがある。

1.3 ユニフォームについて

- (1) 各地区で以下の①～③のいずれかのユニフォームを着用する。
- ①地区でそろえたDCのユニフォーム。
 - ②単一チームのユニフォーム。
 - ③選手の自チームのユニフォーム。(濃色は、色が統一されていなくても可とする。ただし、番号の重複は認めない。)
- (2) (1)①～③のどの形態においてもユニフォームとしてリバーシブルウェアの着用を認める。また、リバーシブルウェアを着用する場合に限り、ユニフォームの下に半袖のTシャツの着用を認める。ただし、Tシャツの色はチームで統一すること。淡色の場合は白、濃色の場合は紺か黒が望ましい。

1.4 参加申込について

- (1) 12月4日(日)までに大会事務局 渡辺 徹(千葉市立新宿中学校)または、受付に「大会参加申込書」を提出する。
- (2) 11月7日(月)までに大会事務局 渡辺 徹(千葉市立新宿中学校)にメールで「プログラム用メンバー表データ」を提出する。
- (3) 11月13日(日)に組み合わせ抽選を行う。
- (4) 12月4日(日)(大会初日)に受付にて、大会参加費を支払う。

1.5 ジュニア強化指定証について

- (1) すべての参加選手には千葉県競技力向上推進本部より「ジュニア強化指定選手証」を配付する。

1.6 規律

- (1) 参加チームはインテグリティの精神(誠実さ、真摯さ、高潔さ)に則り、「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」の取り組みに向けて、暴言等は慎み、ゲームを尊重する精神(リスペクト・フォー・ザ・ゲーム)を持ち、試合に臨むこと。
- (2) 本交流戦における手続きや競技会等の規律については、JBAが定める規律規定ガイドラインの手続きに沿って、大会本部で速やかに対応する。規律規定ガイドラインについては、JBAのホームページを参照とすること。

1.7 その他

- (1) 開閉会式は行わない。
- (2) 参加選手は各自でスポーツ安全保険などに加入すること。
- (3) 観客の有無については、社会情勢により11月下旬を目安に判断をする。
- (4) 「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン」を遵守すること。